

## 宮指路岳～仙ヶ岳 山行報告

山名：（三重県鈴鹿市） くしろだけ 標高：946m

（三重県亀山市） せんがたけ 標高：961m

日時： 2021年3月6日（土）

参加者：M川 K岡 I田 Y尾 H川 N川 K正夫妻 K(報告)

天気： 晴れのち曇り

行動時間：6時間 50分（昼食と休憩含む）

距離： 8.3km（上り 1040m、下り 1037m）

### 行動記録

針テラス 7:00 集合 7:20 出発 小岐須溪谷大石橋登山口 8:50～9:00  
カワラコバ谷コースヤケギ谷コース分岐 09:15（ヤケギ谷コース選択）  
東海展望 10:37～42  
宮指路岳 11:02～32（標高 946mでクシロだよー！なるほど！）  
馬の背（11:37）ピストン  
犬返しの険 11:50  
小社峠 12:51  
仙ヶ岳 13:21～26  
仙ノ石 13:40～45  
下山分岐（野登山分岐） 14:13  
仙鷄尾根・小社峠分岐 14:54～15:00  
林道終点 15:13  
駐車場 15:40～15:50  
針テラス 17:05

### 山行報告

数日前から降水確率が高く大変心配しましたが、前日確認した天気予報では曇り、降雨

量0へと好転し、予定通り実施されました。前日の雨が雪になっていた場合の事を考慮のためアイゼンの用意をしていざ自宅を出発。

集合場所の針テラスを出てから途中雨がぱらつき又少し不安になりましたが、登山口に近づくとつれて晴れ間が広がり、期待で胸一杯に！

登山口出発時点で晴れ、今日は暑くなりそう！と衣類調節して歩き始めました。

小岐須溪谷の川沿いは涼しく滝や鳥のさえずりに癒され心躍るスタートになりました。

渡渉してしばらく行くと分岐があり、ケヤキ谷コースを選択。尾根と沢の繰り返しがあり標高を稼げる登りへ突入。「東海展望」という名の岩付近では、一面ガスで真っ白。

そこからはガスと風を伴った歩きとなりました。寒くなってきたぞ～、衣類調節です。



←「東海展望」

宮指路岳ピークは、笹や木々に囲まれて狭く展望の良い場所ではありませんでした。

風を避けた場所で昼食後、山頂を少し北へ進み馬の背という岩峰をピストン。そのピストンルートに雪を発見！座布団3枚広げた程度の汚れた雪でした。

馬の背は強風でゆっくりできませんでした。



↑宮指路岳山頂

↑山頂北の馬の背

↑犬返しの険

その後、山頂から尾根伝いに南へ、仙ヶ岳を目指しました。山と高原地図にも危険マークがあるように、「犬返しの険」付近は、風化岩のザレ場で足元が滑りやすく不安定な上に西からの強風で体が一瞬浮いたように感じ怖くなって、即体勢を低くしました。早くこの場所から離れた方が良いと思うのですが風が強くて踏ん張るのでなかなか進みません。この冬は西風に鍛えられる機会が多いなあ～、というか、冬はこれが当たり前

か！・・・身に沁みます。ここを過ぎたら風も大分落ち着き、時折お日様が差し込むと、あ〜ホッとするわー。左手方向に、登ってきた宮指路岳、三体仏岩、鈴鹿市街や伊勢湾、進行方向には、仙ヶ岳の秀麗な双耳峰が眺望出来ました。すご〜く素晴らしい眺め！！



↑宮指路岳と三体仏岩、鈴鹿市街、伊勢湾（仙ヶ岳手前にて）

↑仙ヶ岳（奥）



↑仙ヶ岳山頂にて



↑仙鷄尾根のガレ場。

仙ヶ岳山頂で集合写真を撮り、しばらく行くと巨岩「仙の石」が迎えてくれました。

よいしょ！



←「仙の石」

ここからは仙鷄尾根へ。痩せ尾根でガレている上に斜面が急、崩落箇所もあり、足元に注意を払い慎重に下りました。その後何度か渡渉して見慣れた杉林です。

林道になり歩くのが楽になるわ〜と思ったけど、林道はつまらないですね・・・

それにしても今日の変化に富んだ山行のなんと楽しかった事♪♪

企画頂いた M 川様へ感謝です！！

今日も貴重な経験をさせて頂き有難うございました。

今回の気付き MEMO) 実際に歩いている時にふいに現れる、ルート上のマークは正しいかどうか、経験も必要ですが、見極める必要がある、と思いました。例えば、杉の木に書かれた「←水→」の記載 (今回 NG)。通行止めの倒木 (今回は OK。前の別山行では NG だった) 等。

以上、皆様大変お世話になりました。有難う御座いました！

今後共何卒宜しくお願い申し上げます！

(・・・報告書の筈が、拙い日記になってしまい大変失礼致しました、、、)

